



だいすきいっぱい チーム愛宕

7月20日（水）、1学期を無事終えることができました。ここに至るまでには、多くの地域・家庭の皆様の支えがありました。そして、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただいたことに、感謝申し上げます。特に、コロナ渦において、ご家庭での感染対策を十分されたことで、学校の教育活動を推進することができました。学校内において広がりを見せることなく、「ふれあい大運動会」をはじめ、多くの教育活動が実現できたことが嬉しい限りです。子供たちの感動体験や学びの多くを保障することができ、笑顔が増えてきました。ただ、今現在の岡崎市の感染状況は増加傾向にあります。今後の状況に注視し、どう工夫し教育活動を進めていくか考えてまいります。

本日の終業式での子供たちの態度はたいへん立派でした。1学期の締めくくりとしてふさわしい姿でした。校長式辞の内容は、以下のとおりです。「1学期のがんばりの称賛」として、「ふれあい大運動会での学級のまとめ」「毎日の授業や生活全般での頑張り」「6年生が最高学年として愛宕小学校を立派に引っ張った姿」について評価しました。また、それぞれの学級が決めた「級訓」について振り返りました。突然指名されたにもかかわらず、4年生がしっかり声を揃えて級訓の「全力挑戦」が言えました。さすがです。最後に、夏休み中の二つのお願いについてです。まず「命の大切さ」。特に、交通事故・水（海や川）の事故等にあわぬよう「自分の身は自分で守る」を前提として気をつけることを伝えました。二つ目は、「自分で決めたことを、一定期間やり続けること」です。例えば、「お手伝い（洗濯・皿洗い等）」「苦手なところの勉強」「体力づくり」等、自分で決めて続けることの大切さを伝えました。笑顔で二期の始業式が迎えられるように。



7月14日（木）、初の試みである「夏を楽しむ会」を実施しました。「あたごおり」（かき氷）の店を開き、子供たちが自分で好きなシロップをかけて夏を楽しみました。かき氷を食べる前には、兄弟学級で考えたレクをし、笑顔が満開となりました。シャボン玉を作ったり、水鉄砲で遊んだり、バケツリレーをしたりして、工夫を凝らした活動ができました。こうした異学年交流を通して、思いやりの心や温かいかわり方を身につけてほしいと願います。子供たちは、中庭での人

工芝での異学年のかかわりが多く、自然に行動できる良さがあります。子供たちの成長に大きく貢献しています。

